

ホンダ NSX NA2用ファイナルギア取扱説明書

製品品番: R7A16-34

ATS ホンダ NSX NA2用ファイナルギアセットをお買い求めいただきありがとうございました。この取扱説明書は、エイティーエス株式会社が製造販売するファイナルギアセットについて説明したものです。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

安全に正しくお使いいただくために
警告表示の種類と危険度



警告



危険度: 死亡または重症に至る可能性がある危険



注意



危険度: 軽度または中程度の障害に至る可能性がある危険。および、物的損害のみが発生する可能性がある危険。

製品の保証の範囲について

- 弊社の責任で車両への組付けが不可能である場合は、不良品を良品と交換いたします。
- 装着後あるいはご使用後の保証はできません。



警告

● 本製品を着脱する場合は、本取扱説明書と該当車両の整備解説書の内容を十分把握した上で慎重に作業を行ってください。作業方法を誤ると製品および関連部品を破損、あるいは操縦不能等の重大事故を起こす恐れがあります。

● 本製品の性能・特性を十分ご理解されたうえでご使用ください。

● 本製品を落下させたり衝撃を与えた場合、錆が発生している場合、異物が付着・侵入している場合などは、本製品が故障・事故を誘発する可能性がありますのでご使用を中止してください。

● 本製品を装着した車両の運転中に異常を感じたら、周囲の安全を確認した後、安全な場所にただちに車を止めて、点検・修理を行ってください。



注意

● 必ず同梱のカウンターシャフトとリングギアをセットでご使用ください。

● 本製品の取付けは、専門の知識・経験・整備・資格のある整備工場で行ってください。

● 適合車種以外の車両への装着はしないでください。

● この取扱説明書は、ユーザー様が大切に保管願います。

● 本書面の内容や本製品の仕様・価格等は予告なく変更することがあります。

仕様

● 減速比 4.429(スタンダード車の減速比4.063に比べて9%、TypeR車の4.235に比べ4.6%減速されます。)

● テンパーショット処理済み

強度と耐久性が大幅に向上する表面改質処理を施工しています。

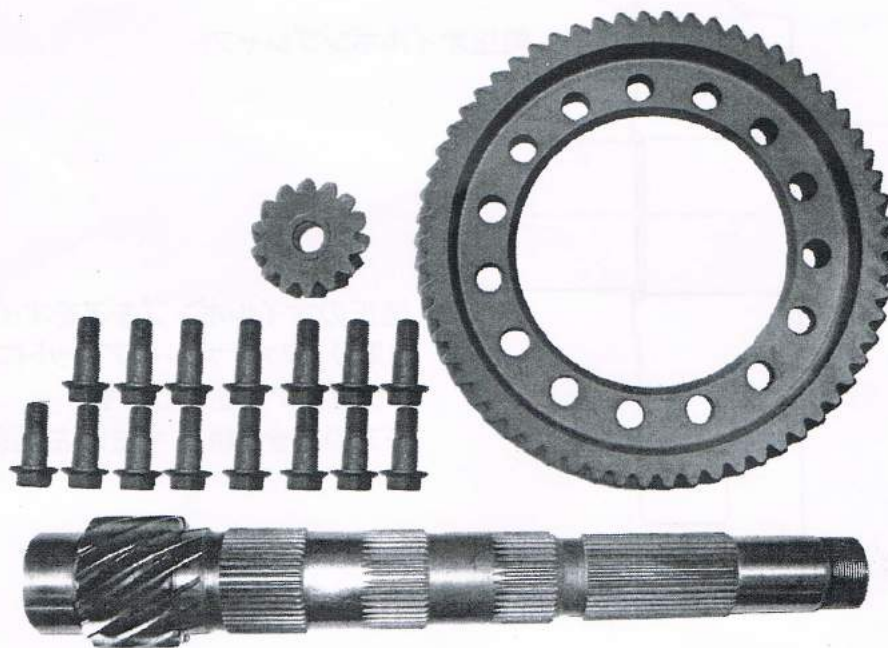
※ギア音が発生することがありますが、異常ではありません。

組付け上の注意

● 車両メーカーの車両整備解説書に準じて組付け作業を実施してください。

● 本ファイナルギアはATS製のLSDのみに取付け可能です。純正および他社製LSDに取付けはできません。

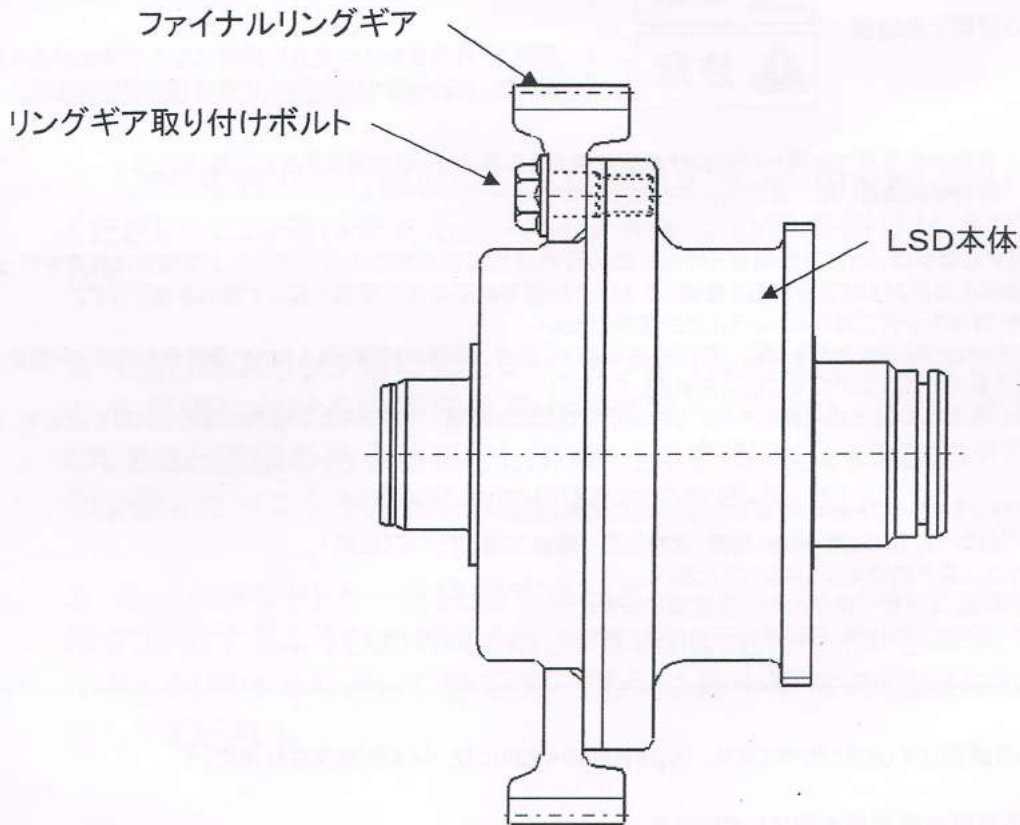
製品外観写真



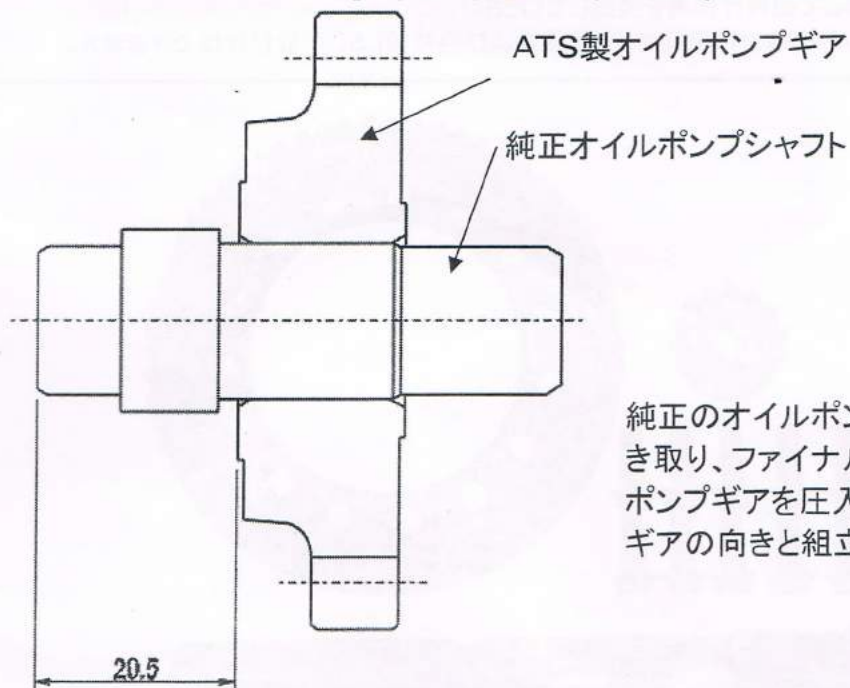
ファイナルギアの組付け方法

ファイナルリングギアをLSDに固定してください。(下図参照)

ファイナルギアセットに付属しているファイナルギア締め付けボルトの締め付けトルクは15.5kg-mとなるよう精度管理されたトルクレンチで締め付けてください。ボルトには、低～中強度のネジロック剤を塗布してください。



オイルポンプギアの組み立て

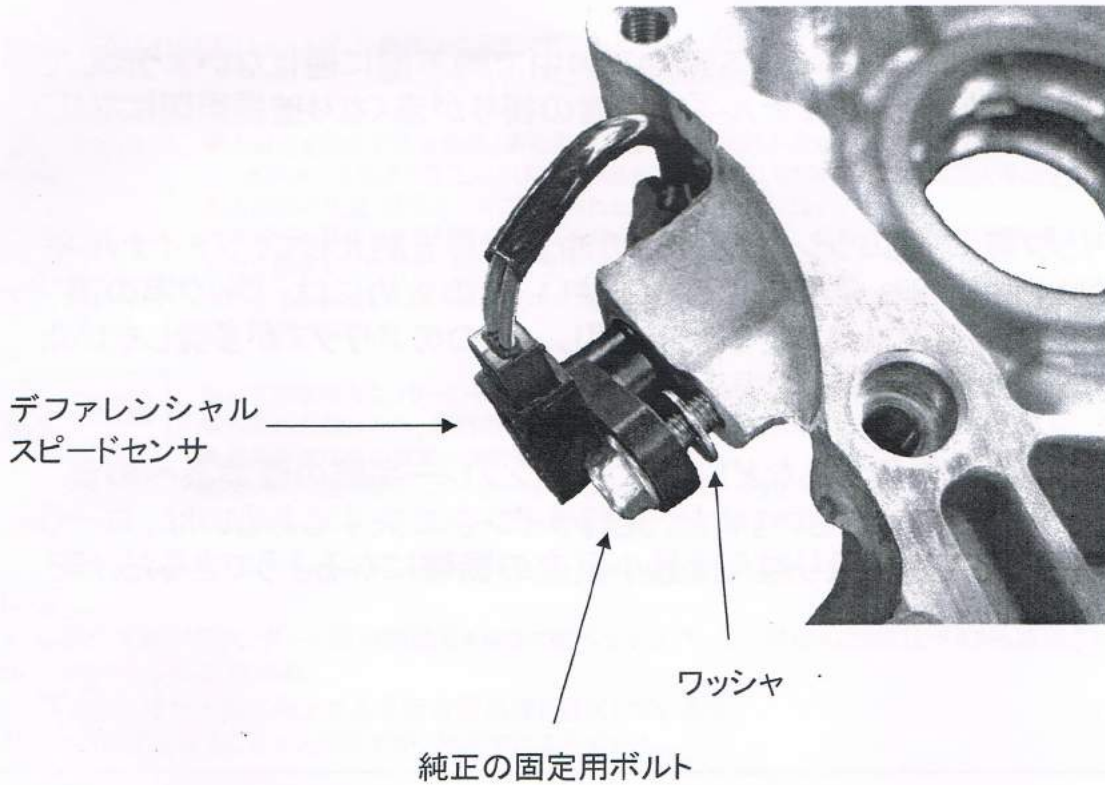


純正のオイルポンプギアをオイルポンプシャフトより抜き取り、ファイナルギアセットに同梱されているオイルポンプギアを圧入します。

ギアの向きと組立寸法は左図を参考にしてください。

ファイナルリングギアとデファレンシャルスピードセンサの干渉

パワーステアリング搭載車両にはファイナルリングギアの回転数を検出する、デファレンシャルスピードセンサがミッションケースについています。しかし、ATSのファイナルギアセットを取り付ける際に、このデファレンシャルスピードセンサとファイナルリングギアが干渉してしまいます。これを解消するためにミッションケースとデファレンシャルスピードセンサの間にファイナルギアセットに付属している厚さ1mmのワッシャを入れて固定してください。



ファイナルギヤの破損防止について

次の点にご注意願います。

- 1 LSDを組み込む際には、LSDがミッションの中で軸方向に遊ばないようにしてください。この遊びがあるとファイナルギヤの歯の掛りが浅くなり破損原因になります。
- 2 LSDのスリップ等によるミッションオイルの油温上昇を防止して、ファイナルギヤの歯面における油膜切れ発生を抑えてください。このためには、ロック率の高いLSDと実績のある適正なLSDオイルを使用し、LSDのスリップが多発しないような適正なインシャルトルクの範囲でご使用ください。
- 3 ヒールアンドトゥーを使用するなどして、エンジnbrake時の駆動系への負担を緩和するよう心がけてください。また、走行ラインを工夫するあるいは、ローリングを利用するなどして縁石乗り越えは最小限度の衝撃になるようできるだけ配慮してください。